



かつやま

1 No.674 月号



「まゆ玉うさぎ」

ゆめおーれ勝山で、繭(まゆ)玉を使って今年の干支の卯(うさぎ)を作る教室が開かれました。参加した小学生たちは、初めて触った繭玉で、上手にかわいいウサギを作っていました。

CONTENTS Web

新春座談会
確定申告受付のご案内
12月定例議会報告
人件費の状況

平成23年1月13日発行

歴史の散歩道

(123)

勝義大徳と平泉寺の中興

平泉寺の名を今に残した僧は、勝義大徳であろう。勝義は、泰澄大師が越の大徳と呼ばれていたように、勝義も大徳と呼ばれていた。当時の僧は沙門ということが多く、大徳と呼ばれていたということは、当時の民衆から親近感をもって慕われた徳のある人物であったと思われる。

今までの歴史で、勝義大徳がどのような扱いを受けてきたかは、『三外往生記』に「越前国白山麓平清水之常住也」とあることから、平清水つまり平泉寺に常住する僧侶という扱いに過ぎなかった。この勝義大徳の伝記は、『三外往生記』に百五十二字にわたって書かれている。本文では、比叡山の根本中堂に「二十日夜にわたり参籠した。この修行を終えて、平清水に帰った。勝義の性線は、悟惜(金にけちなこと)でなく大らかであった。そして、「千僧供」(千僧供養。多くの僧侶を請じて行う法会)は五度におよび、三時(一日を昼と夜にわけた六回)に「阿弥陀供養法」(阿弥陀経や阿弥陀仏に供物を供えてお経を誦経すること)を修めることを怠らなかつた。そして、勝義大徳が往生をとげる最期は、持仏堂に入って座し、阿弥陀経を誦経しながら逝去した。そのとき、持仏堂の堂内に



みたらし池は御垂らし池の意であり、白山神が降臨した

は紫雲がみち、天承二年(一一三二)一月七十歳を以て一期を終えた。勝義大徳の伝記には、白山に登ったという記述がないために、白山比咩神社の「白山信仰年表」でも「越前国白山麓平清水居住勝義大徳、七〇歳で没する」とあるに過ぎない。筆者は、平泉寺に住んでいて白山に登らないはずはないと考え、平泉寺を中興した人物とする。そして、泰澄大師が重視した経典は、『泰澄和尚伝記』によれば、僧玄昉が伝えた十一面観音経であり、勝義大徳が重んじた経典は阿弥陀経である。宗教としての白山信仰はこの二つの経典により理解でき、書物や発掘では空疎なものがあるが、平泉澄博士が大正十四年に「厭世詩人蓮禪」という論文を著した。文化財保護委員 佐野光臣

人口の動き

	11月末現在	自然動態			社会動態			12月末現在	月間増減
		出生	死亡	計	転入	転出	計		
男	12,540人	9	9	± 0	10	12	- 2	12,538人	- 2人
女	13,731人	6	16	-10	15	19	- 4	13,717人	-14人
合計	26,271人	15	25	-10	25	31	- 6	26,255人	-16人
世帯数	8,239世帯							8,238世帯	- 1世帯

新年あけましておめでとございませう。本年も「広報かつやま」をよろしくお願いたします。年末年始はまとまった雪が降ったので、新年早々に屋根雪下ろしをされた家も多いのではないのでしょうか。雪については、これからまだまだ注意が必要です。1月最終日曜日には、冬の風物詩「勝山の市」が開催されます。ぜひ足をお運びください。



交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成22年12月末	前年比
総件数	478件	+23
人身事故(うち高齢者)	74件(56)	+12(+20)
死者(うち高齢者)	3人(2)	±0(±0)
傷者	77人	+12
物損事故	404件	+11

1月の納税

市・県民税▶4期
国民健康保険税▶4期
納期限▶1月31日(月)
口座振替▶1月26日(水)

<ろうきん>は、お子様の夢をお手伝いをします!

(取扱期間 2010年10月1日~2011年7月31日)

教育ローン

キャンペーン実施中!

<入学金や授業料、住居費用、生活費など幅広くご利用いただけます>



北陸ろうきん 勝山支店 Tel. 0779-88-0490

ナガノ観光自動車
冬の旅

「冬華の協演」自然美と煌びやかな祭典

ウィンターイルミネーションとジャズドリーム長島の旅

■旅行代金(お1人様) 5,000円~

大野・勝山発着

■出発日 1月22・23・29・30日
2月11・12・19・26日



大野観光自動車(株) 福井県知事登録 旅行業第2種204号
旅行事業部 お問い合わせは ☎0779-66-3023

